

「通知カード」を  
順次発送中です



マイナンバー



通知カード

社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入により、この10月から個人番号(マイナンバー)が指定され、住民票上の住所全世帯に「通知カード」や「個人番号カード交付申請書」などが入った簡易書留が郵送されています。秋田市内は、11月末までに発送が完了する予定です。

なお、「通知カード」は簡易書留で送られるため、不在で受け取れなかった場合は、不在通知書を確認のうえ、郵便局へご連絡ください。

やむを得ない理由により通知カードを受け取れないかた

① 返戻された通知カードを市民課窓口で直接受け取る場合

返戻された通知カードは市民課で3か月程保管します。直接窓口で受け取る場合は、次の書類が必要です。**本人確認書類(写し不可)**▶運転免許証、パスポート、在留カードなどのうち1点。これらが無い場合は、健康保険証、年金手帳、社員証、学生証などのうち2点

\*代理人が受け取る場合は、別途、書類が必要です。市民課へお問い合わせください。

② 返戻された通知カードを居所(住民票上の住所でない居住地)へ再送する場合

下記の理由がある場合、居所に通知カードを再送できます。再送には申請が必要です。申請書は、市民課窓口にて備え付けているほか、次のホームページからも入手できます。<http://www.city.akita.akita.jp/city/ct/ct/mynon/>

- ▶ 東日本大震災により被災し、住所地以外の場所へ避難しているかた
- ▶ DV(ドメスティックバイオレンス)などの被害者で、住所地以外の場所へ移動しているかた
- ▶ 医療機関・施設などへの長期入院・入所が見込まれ、かつ、住所地に誰も居住していないかた
- ▶ 上記以外のかたで、やむを得ない理由により住所地で通知カードの送付を受けることができないかた

通知カード・個人番号カードに関しては、市民課 ☎(866)2018、マイナンバー制度に関しては、番号制度導入推進室 ☎(866)6653

問い合わせ

もくじ



表紙のはなし♪

「秋田の行事」誕生までの話、そして戦争という嵐に飲み込まれていく2人の運命…。笑いあり、感動ありの舞台を見終えた後、改めて故郷を大切に思う気持ちが生まれます

- 3 ころろに、学舎「大正寺小学校」
- 4 食べきりアイデアレシピ集／地域特産品アイデアコンテスト
- 6 男女共生推進都市宣言／明るい選挙啓発ポスター入賞作品
- 7 みんなで予防！ インフルエンザ
- 8 市役所からのお知らせ  
…犯罪被害者週間／ひとり親家庭の自立を支援／12月1日は世界エイズデー ほか
- 10 井戸端市民通信  
…“バリコロ”はいかが？／千秋公園の歴史案内が5万人／広報クイズ
- 12 育児コーナー  
…“子どもツリー”になろう！ ほか
- 14 情報チャンネル  
…土砂災害への備えを再確認／宝くじ助成／千秋美術館・赤れんが郷土館・佐竹史料館の各企画展／新規就農研修／講座／催し／案内／健康
- 20 カメラトピックス～観光編

■編集発行＝秋田市広報広聴課 ☎018(866)2034  
■〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号  
■広報あきたは毎月第1・第3金曜日発行です。  
公式ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/>  
公式ツイッター <https://twitter.com/akitacity>  
秋田市役所Facebookページ  
<https://www.facebook.com/city.akita>



ずっと、忘れない  
まなびや  
ここに、学舎



雄和新波字寺沢3218  
**大正寺小学校**



旧校舎(昭和51年の空撮)

校歌

作詞：松戸久治  
作曲：藤原辰五郎

一 雪の光も螢火も  
昔ながらの新波なる  
教えの庭の学び風  
いや吹きめぐれ朝夕に

二 雪の光も螢火も  
昔ながらの新波なる  
教えの庭の稚児ぎくら  
いや咲きほこれ朝夕に

あらわ  
新波小として明治7年に誕生

大正寺小の歴史は、明治7年にできた「新波小学校」が始まりです。昭和22年に「大正寺小学校」に改称され、昭和55年には「中の沢小学校」を統合し、現在の大正寺小と同じ学区になりました。そして今年で141周年。脈々と地域の文化を育み続けています。

長い歴史の中、「自転車といえば大正寺小」と言われた時代もあります。安全な乗り方などを競う「交通安全子供自転車大会」で、学校の自転車クラブが、昭和48年から20年連続県大会で優勝、昭和53年には全国大会で準優勝に輝いています。地域をあげて取り組んだおかげで、県内にその名を轟かす結果となりました。

地域に愛され続ける小学校

8月に行われる地域伝統の「大正寺おけさまつり」には、毎年、全児童が参加します。おけさま保存会のかたの熱心な指導の下、子どもたちは真剣に練習に取り組んできました。

また、商店街を駆け抜ける学校恒例の「さわやかマラソン大会」では、沿道からの声援が、子どもたちの完走を後押ししてくれました。

こうしてみんなに支えられ、親しまれてきた大正寺小学校。閉校は一つの節目ですが、子どもたちと地域の絆は、きつと今以上に強くながついていくことでしょう。

：平成27年11月現在の在校生は42人。  
うち最後の卒業生は7人です。

笑顔の思い出

マラソン大会



↑違う学年の児童がグループに分かれて活動。責任感が芽生え、親密さが増します



大正寺おけさまつり。合い言葉は「元気がなければおけさじゃない」

雄和の4つの小学校が来春統合します

- ◆ 雄和地域の「大正寺・戸米川・川添・種平」小学校が統合し、来年4月に「雄和小学校」が誕生します。これから、広報あきた第3金曜日発行号で、閉校となる4校をシリーズで紹介します。
- ◆ 4校の閉校式は、11月に実施されます。式典の様子は、広報あきたで改めてお知らせします。
- ◆ 現在、「雄和小学校」を建設中です。場所は、雄和市民サービスセンター近く、雄和中学校の隣りの敷地です。来年4月からは約210人の児童が通うこととなります。



現在建設中の雄和小学校。左側の建物が雄和中学校

